

◆ 研究所概要



組織名	地方独立行政法人大阪産業技術研究所和泉センター	
所在地	大阪府和泉市あゆみ野2丁目7番1号	
職員数	173名 (非常勤・派遣29名を含む)	

サイト(敷地), 建物	敷地面積	81,840㎡
	建築面積	17,101㎡
	延床面積	38,197㎡

◆ 事業活動の環境への影響 (平成30年度実績)

地方独立行政法人大阪産業技術研究所和泉センター(以下、和泉センターという。)は環境改善につながる活動を推進しています。和泉センターには特に大きな環境影響を及ぼす施設や活動はありませんが、公設試験研究機関という業務の特殊性から薬品、高圧ガスをはじめとする多種多様な化学物質を使用しており、それらの取扱いによっては、環境に対して影響を及ぼしうるものと認識しています。

INPUT

電力使用量	:	5.965	千 kWh
都市ガス使用量	:	199	千 m ³
水道使用量	:	16	千 m ³
紙使用量	:	866	千枚

OUTPUT

廃棄物排出量

事業系一般廃棄物	:	8.7	トン
産業廃棄物合計	:	10.2	トン
(内、特別管理産業廃棄物)	:	1.0	トン

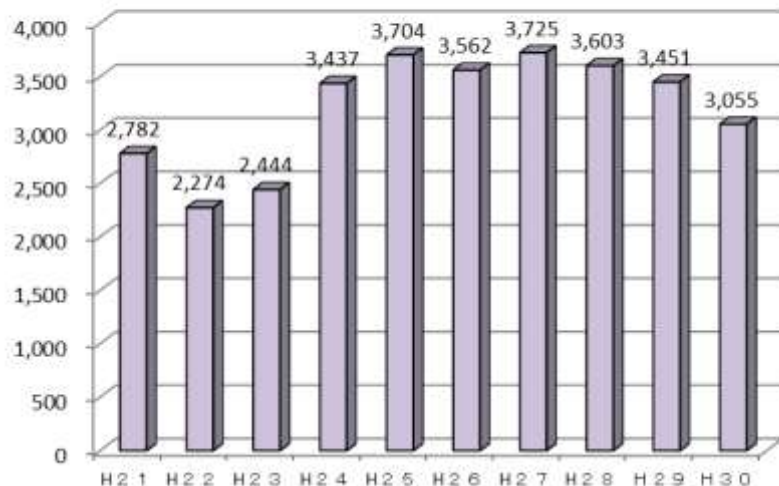
◆ 環境パフォーマンス

過去10年間の電力、都市ガス、水道の使用量をCO₂排出量に換算しました。

和泉センターでは平成22年度までは、ほぼ順調にCO₂排出量を減少させてきましたが、平成23~25年度は排出係数の上昇等により、前年度に比べ、増加しました。

平成30年度は、電力使用量及び排出係数が減少したため平成29年度よりCO₂排出量を約400トン減少することができました。

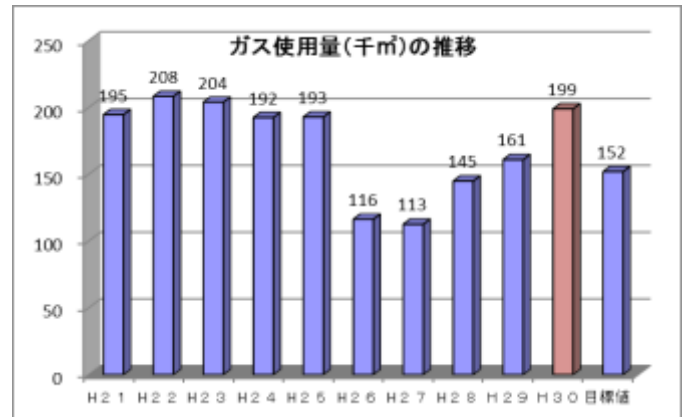
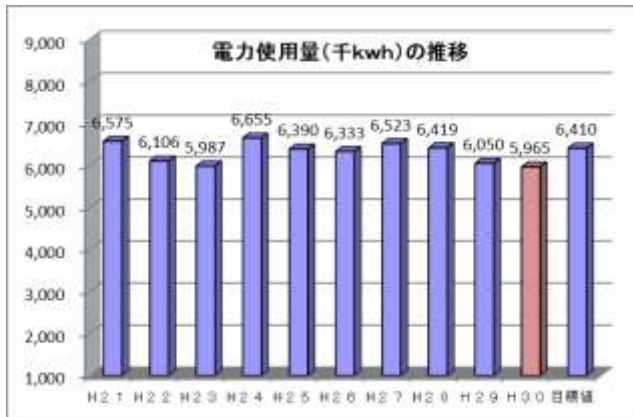
CO₂排出量(t)
電力・都市ガス・水道・使用量から換算



◆ 省エネルギーへの取組み

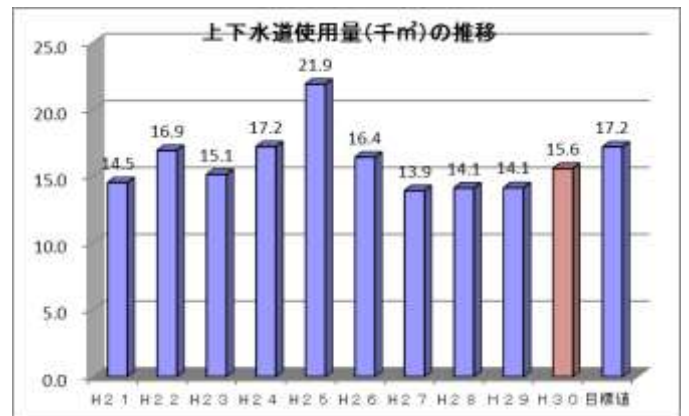
■ 電力・ガス使用量について

平成30年度の電力の使用量は、前年度より減少し、目標値（平成24年～平成27年の平均値から5カ年で2.5%の削減、6,410千kWh以下）を達成できました。しかし、平成30年度のガス使用量は前年度より増加し、目標値（平成24年～平成27年の平均値から5カ年で2.5%の削減、152m³以下）を達成できませんでした。



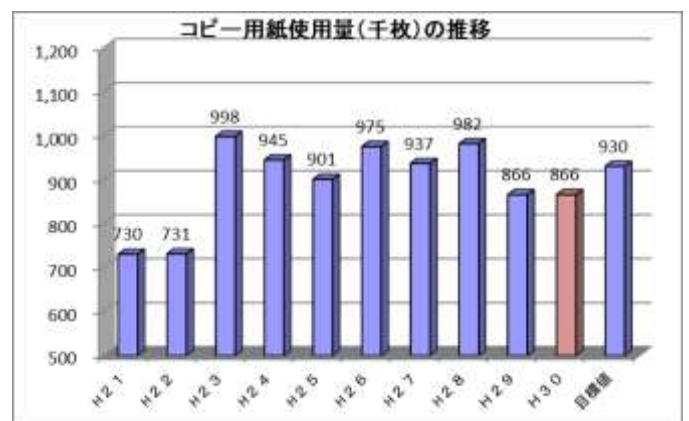
■ 水道使用量について

平成30年度の上下水道の使用量は前年度より増加し、目標値（平成24年～平成27年の平均値から5カ年で2.5%の削減、17.2千m³以下）を達成できませんでした。



■ コピー用紙使用量について

コピー用紙使用量は前年度と同様で、目標値（平成24年～平成27年の平均値から5カ年で2.5%の削減、930千枚）を達成できました。



■ 産業廃棄物について

平成29年度に多量の普通廃棄物（廃油等）や雑芥を処分したため、平成30年度は前年度比15.1トン削減となり、目標を達成することができました。

